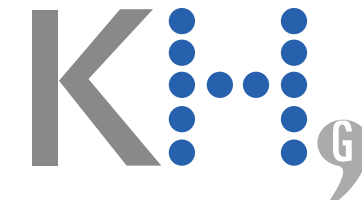


特集

第24回 日本腹膜透析医学会
学術集会・総会

藍住川島クリニック開院
平成30年度事業計画

第8回 川島病院 市民公開講座
2017-2018 Photo Report



Kind 優しい

Honest 誠実な

Growing 伸びゆく

社会医療法人 川島会

●川島病院

●川島透析クリニック ●鴨島川島クリニック ●鳴門川島クリニック
●脇町川島クリニック ●阿南川島クリニック ●藍住川島クリニック

社会福祉法人 飛鳥

●ケアハウス ●在宅介護支援センター ●デイサービスセンター ●ヘルパーステーション

川島ホスピタルグループ広報誌 第16号 2018年11月発行 発行/川島ホスピタルグループ

〒770-8548 徳島市北佐古一番町1-39 TEL.088-631-0110 FAX.088-631-5500

企画・編集/川島ホスピタルグループ広報委員会 川島ホスピタルグループホームページ <http://www.khg.or.jp> デザイン・印刷・製本/太陽高速印刷(有)



表紙写真:とくしまLED・デジタルアートフェスティバルの会場の一角です。赤や紫、黄色のバルーンに触れると色が変わります。どんな仕組みになっているか分かりませんが、会場に流れる荘厳な音楽とともに家族連れが夢中になっている様子がうかがえました。
(撮影/川内秀喜)

Contents

Kawashima Hospital Group Magazine

2	特集	第24回 日本腹膜透析医学会 学術集会・総会 ～「光り輝く腹膜透析」～
10	藍住川島クリニック開院
16	平成30年度事業計画
17	BEST SHOT 今年の一枚 撮影・川島 周 理事長
18	第8回 川島病院 市民公開講座 「みんなでのばそう健康寿命」
23	2017-2018 Photo Report 健康・福祉フェスタ・とくしまマラソン・阿波踊り・慰安旅行 藤倉みきアジアチャンピオンに・部活・サークル紹介
36	主な行事
37	2017-2018年 資料編



Kind 優しい

Honest 誠実な

Growing 伸びゆく

私たちの病院の理念

- 1 患者さんをはじめ、関係する方々との信頼関係を築きます。
- 2 病院経営の質の向上に努め、良質で効率的かつ組織的な医療を提供します。
- 3 地域社会の健康および福祉の増進に貢献することを使命とします。

私たちの病院の基本方針

私たちの病院は

- 1 患者さんや家族の方々との信頼関係に基づいた、患者さんの立場に立った医療を提供します。
- 2 公正な医療の提供と医療の質の向上に努めます。
- 3 腎臓器疾患と糖尿病の診断と治療に総合的に携わる病院として地域の皆様に信頼していただけるよう、日々全力を傾注します。
- 4 患者さんに安心して医療を受けていただけるような良質な医療環境医療体制を構築します。
- 5 地域社会の一員として、また社会的存在として行動し、その責任を果たします。

会長講演 「光り輝くPD普及を目指して」

司会:水口 潤 (川島病院 院長)
演者:岡田 一義 (川島病院 副院長)

会長特別企画1 「PD患者数1万人突破を目指して」

シンブルPD
演者:水口 潤 (川島病院 院長)

会長特別企画2 「光り輝くPD普及のための提言」

日本腹膜透析医学会からの提言
演者:水口 潤 (川島病院 院長)

シンポジウム

シンポジウム1 「PD人材育成システムの構築」

PD認定医制度の構築
演者:岡田 一義 (川島病院 副院長) 他

シンポジウム2 「PD長期継続に看護師が果たす役割」

司会:西分 延代 (看護師長) 他
SY02-01 安全かつ簡素化を目指したPD管理支援
演者:戸田 己記 (看護師主任)

教育セミナー45

E545 患者・家族に寄り添う多様性のあるPD療法支援の一翼を担って
演者:森下 成美 (看護師主任)

腹膜病理検討会

腹膜病理検討会 第2部 腹膜生検例検討会
腹膜病理からPDの現状と未来を検証する

C02-04 長期の中性PD液使用にてEPSを発生した1症例
演者:井上 朋子 (腎臓内科 医長)

JSPD公式英文誌RRT報告

司会:水口 潤 (川島病院 院長)

ランチョンセミナー5

司会:水口 潤 (川島病院 院長)

ランチョンセミナー6・9

司会:岡田 一義 (川島病院 副院長)

ランチョンセミナー10

LS10-02 超高齢化社会における腹膜透析の普及に向けて
演者:水口 潤 (川島病院 院長)

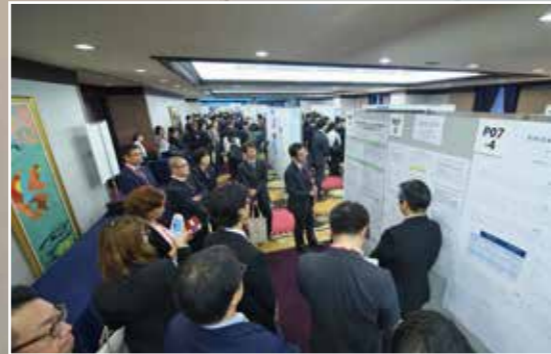
一般演題 ポスター7「感染症2」

P07-06 術前診断が困難であった穿孔性腹膜炎を合併した真菌性
腹膜炎の一例
演者:島 久登 (腎臓内科)

P07-10 シンプルPD管理による出口部感染と腹膜炎について
演者:田代 学 (腎臓内科 医長)

一般演題 ポスター30「看護一般2」

P30-06 腹膜透析(PD)の交換環境(マスク着用、交換前手洗い、交換
直前手指アルコール消毒)厳守と腹膜炎発症の関連性
演者:奥谷 晴美 (看護師)



特集 第24回 日本腹膜透析医学会 学術集会・総会

～「光り輝く腹膜透析」～

日程:2018年10月6日(土)~7日(日)

会場:JRホテルクレメント徳島



光り輝く腹膜透析 ～腹膜透析普及への課題～

水口 潤 (川島病院 院長)

腹膜透析は24時間連続で治療する比較的マイルドな透析療法であり、社会復帰や在宅医療をメリットとして普及がはかられました。また近年ではシャント作製や体外循環が困難な高齢者や心血管合併症症例に対しても、シャントが不要でマイルドな透析である利点を生かし適応されています。しかし、わが国では透析患者の大多数が施設での血液透析患者であり腹膜

透析患者はわずか2.7%にすぎず、諸外国に比べて腹膜透析の普及率は極めて低い状況にあります。その要因として、腹膜透析カテーテル出口部感染やトンネル感染、腹膜炎、腹膜機能低下、被嚢性腹膜硬化症など未だ未解決な部分が多い種々の合併症に加え、大病院や基幹病院での若手医師に対する腹膜透析に関する教育不足や、腹膜透析の導入システムが整っ

ていない施設が多いことがあげられます。さらに導入システムが整っていない施設では、透析療法開始時に腹膜透析に関する情報提供が十分に行われていないことも報告されています。

今後は患者の高齢化や在宅医療の推進に伴い、腹膜透析の必要性が高まると考えられます。その普及のためには、まずは患者ならびにそれを支える家族の負担軽減や、透析を行っていない病院や施設での受け入れを目的として、腹膜透析の簡素化が重要であります。さらには大病院や基幹病院での若手医師教育に加え、腹膜透析の導入システムを持たず、カテーテル留置術や導入を行えない透析クリニックや、血液透析施設をもたない医療施設に対する基幹施設の援助が不可欠となります。腹膜透析の導入・コンディショニング・合併症治療は基幹病院で行い、普段の医療は協力施設で行うシステム作りが望まれます。また基幹病院と腹膜透析関連施設との連携のためには、治療方法のガイドラインの充実も必要となります。



第24回日本腹膜透析医学会 学術集会・総会 会長

岡田 一義 (川島病院 副院長)

川島病院のスタッフは、運営のお手伝いや主要プログラムと一般演題の発表や司会として活躍しただけではなく、情報交換会では、阿波踊りを娯茶平と一緒に川島連として披露し、阿波踊りの楽しさを全国の医療者に伝えることができ、心に残る学術集会になりました。

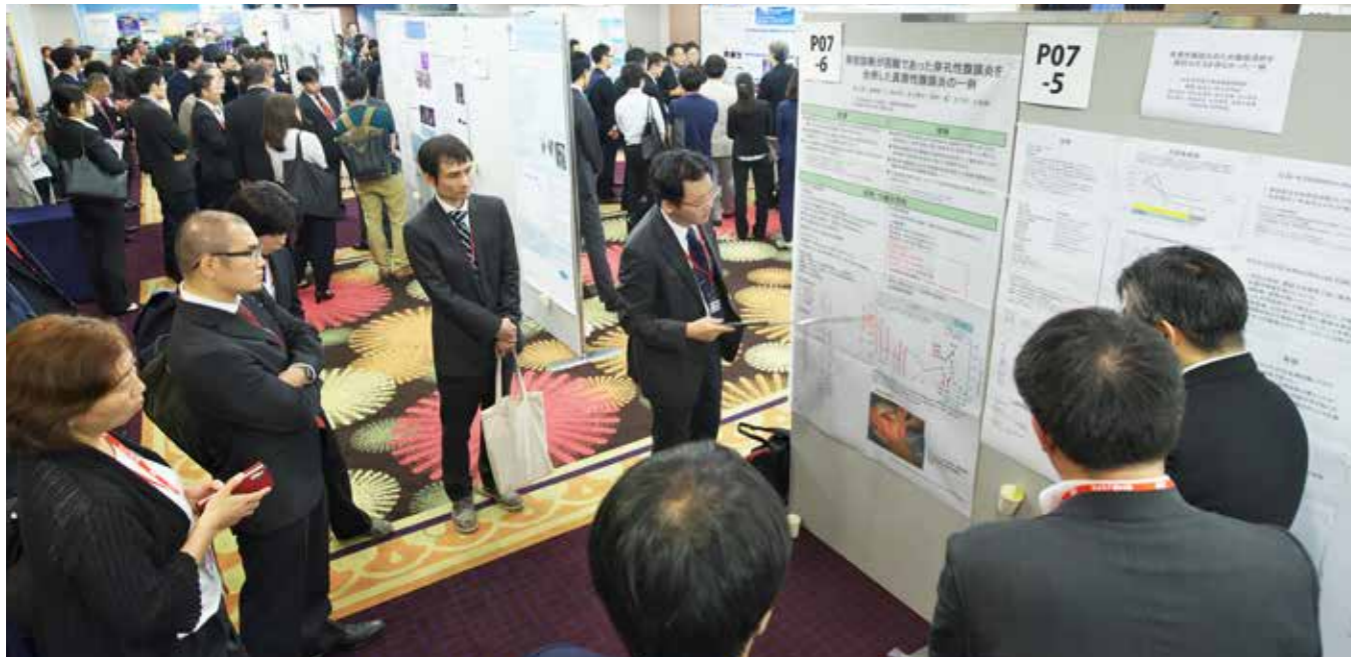
える選択肢に患者さんと同意させている可能性もあります。

日本の透析医療は、著しい発展を遂げ、その治療成績は国際的にみても最高レベルに達していますが、血液透析を選択する患者さんがあまりにも多く、腹膜透析と移植を選択する患者さんは極端に少ないアンバランスな状況が続いています。これらを実施できない施設では、腎代替療法を選択する時に、適切なインフォームド・コンセント(ICC)を行わずに、医療者が最善と考

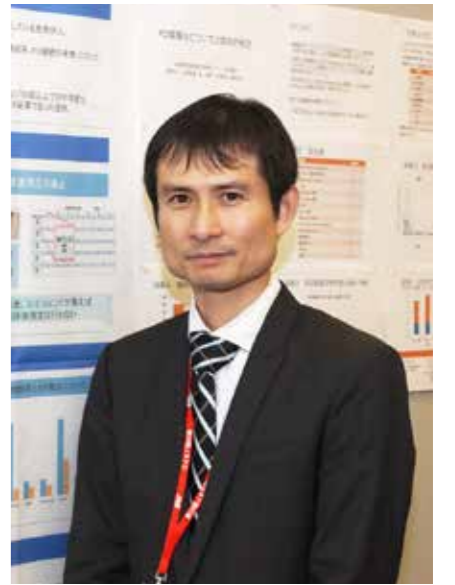
近年、患者さんと医療者の協働的意思決定(Shared decision making: SDM)が重要と認識されています。患者さんの個別性と価値観の多様性・複数の選択肢・医療の不確実性・患者さんの希望/意向を重要視し、患者さんと医療者が情報・治療の決定過程・責任を共有し、両者の意思決定と合意形成が並行して行われます。日本腹膜透析医学会を含む5学会が推奨する冊子「腎臓病 あなたに合った治療法を選ぶために(腎臓病SDM推進協会)」を使用することにより、今後、適切な腎代替療法の選択が行われ、腹膜透析と移植を選択する患者さんが増えることを確信しています。

2018年の診療報酬改定の追い風もありますが、質の高い腹膜透析がSDMのもとで患者さんに正しく理解されて選択され、今後、患者数が1万人を超えるきっかけになる学術集会・総会にしたいといった意図を込めました。

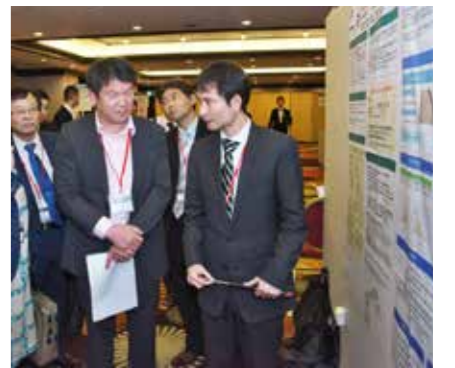




第24回日本腹膜透析医学会学術集会・総会に参加して



田代 学
(腎臓内科 医長)



今回の学会は「光り輝く腹膜透析」というテーマで腹膜透析の普及を目的に徳島で開催されました。血液透析患者は増加している一方で腹膜透析患者は横ばいで推移しており腎代替療法の療法選択は極端に血液透析が選択されているのが現状です。その原因については学会でも議論されており、腹膜透析の導入率が少ないのではないかという要因の1つだとわかりました。私自身も川島病院に来る前までは、腹膜透析の経験は少なく、透析導入時の療法選択においても血液透析導入がほとんどでした。

そのような施設はまだ多いのが現状ですが、腎臓内科でシャント作製したりPDチューブ挿入したり外科的な手技をする施設も増えてきてます。そのような施設では腎臓内科で腎不全管理→腹膜透析導入→腹膜透析管理と二連の流れをみるので腹膜透析導入の垣根も低くなっていると思います。腹膜透析を医療者側にも知ってもらうことで、よりよい腹膜透析管理ができ、腹膜透析患者が増えていくのではないかと思います。また、当院で行っているシンポジウムについて発表させてもらいましたが、今では多くの施設で

シンポジウムを取り入れていることがわかりました。手順を簡略化することが、医療者、患者双方に有益であり、より普及していく要因の1つでもあると思います。

今回の学会で色々課題を見つけてことができ、明日からの診療につなげていければと思います。

余談ですが、今回の情報交換会で披露された娯茶平、川島病院職員での阿波踊りは想像以上の盛り上がりが見られ、阿波踊りを見たことない他県の方々に徳島県のアピールもできました。

第24回
日本腹膜透析医学会
学術集会・総会を
経験して

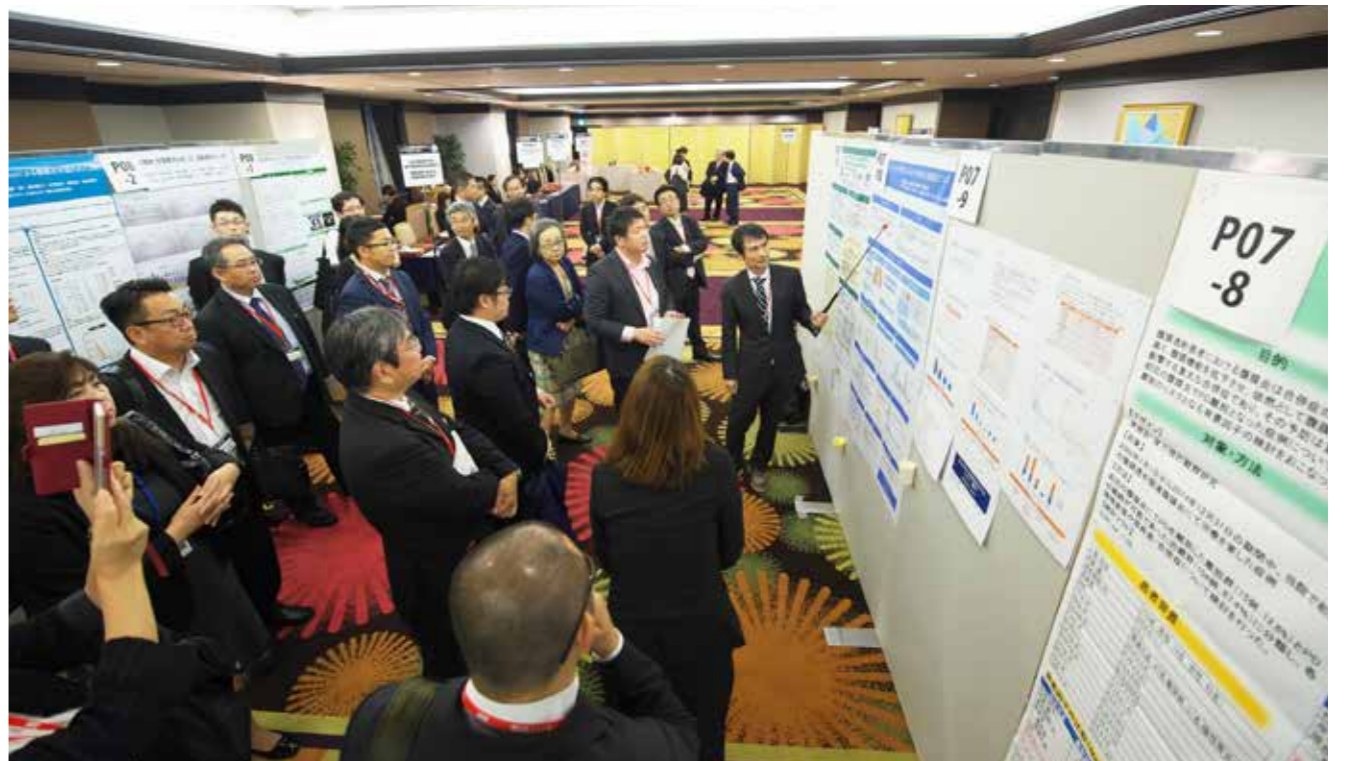
「光り輝く腹膜透析」というインパクトのあるテーマで、2018年10月6日と10月7日に第24回日本腹膜透析医学会学術集会・総会が徳島で開催されました。徳島では3度目の開催となり、当院の副院長の岡田義先生が大会長を務められました。台風の影響で開催が危ぶまれましたが、会場では多くの参加者で賑わい活発な議論が展開されていました。腹膜透析が普及しない理由として医療従事者の教育機会が少ないこと、CKD患者のPD認知が低いことが主に挙げられます。CKD患者に適切なPDに関する情報を提供できるためにも医療従事者へのPDに関する

教育が重要と考えます。患者数100000人を超えるきっかけになる学会になればという大会長はじめ関係者の「光り輝く腹膜透析」という強い想いが、開催前・開催中とひしひしと伝わってきました。これまでの回より多岐にわたる演題や教育講演が豊富で、当院からも多数の演題発表がありました。私は「術前診断が困難であった穿孔性腹膜炎を合併した真菌性腹膜炎の例」という症例報告を行いました (CEN Case Rep. 7 (2018.210, 2018)。新たな疾患概念、新規の治療法は少ない症例の報告から生まれることがあります。他施設の興味深い症例報告を通して、医療者同士の経

験を共有することができた充実した2日間でした。開催前日の10月5日の評議員懇親会では司会を務めさせていただきました。多くの先生方と交流することができました。情報交換会では徳島を味わうことのできる料理を堪能しつつ、テツ and トモの出演、阿波踊り、くじ引きなど内容盛り沢山でも盛り上がりました。情報交換会前にテツ and トモとネタの打ち合わせをしたこと、打ち合わせが長引き自分の発表に遅れそうになったこと、川島病院連として娯茶平連と一緒に阿波踊りを踊ったこと、など学術以外にも思い出に残る学会となりました。



島 久登
(腎臓内科)





奥谷 晴美
(看護師)



今回、初めてのポスターでの発表で参加させていただきました。職場のスタッフを見たとき、緊張、不安から安心に変わり、落ち着いて発表することが出来ました。この2日間では、他施設の講演や発表を拝聴し、患者に寄り添う支援に努力されていることを学びました。良い経験をさせていただき、感謝いたします。



戸田 己記
(看護師主任)

今回「PD 長期継続に看護師が果たす役割」をテーマとしたシンポジウムに指定演者として参加しました。各施設の発表を聞き、PD を長期継続する事だけを目標とせずその人らしい生活が送れるように共に考えていく姿勢が大切であると改めて感じました。今後も適切な療法選択ができるように看護師として支援していきたいです。



森下 成美
(看護師主任)

全国から多くの医師・コメディカルが参加し活気ある2日間でした。私は教育セミナーで「PD訪問看護師の役割」について講演させていただきました。訪問看護をはじめ3年ほどであるにも関わらず、このような発表の機会を頂き感謝しています。これを機に自分たちの看護を振り返る事ができ、訪問看護師としてどうあるべきか考えるよい機会となりました。



西分 延代
(看護師長)

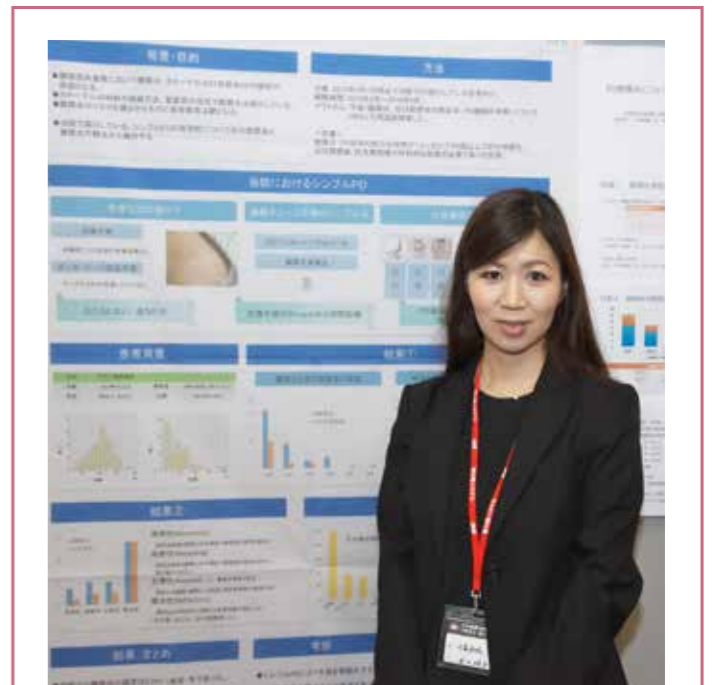
今回は「PD 長期継続に看護師が果たす役割」をテーマとしたシンポジウムの司会を担当しました。PD を長期継続する事だけが目的ではなく、SDM を繰り返し、変化する人生の中で、その人らしい生き方を支援する患者に寄り添った看護の取り組みを話され、とても共感しました。

日本腹膜透析医学会(JSPD)に参加して

情報交換会



▲表彰式



井上 朋子
(腎臓内科 医長)

藍住川島 クリニック 開院



当クリニックでは糖尿病腎症をはじめとする生活習慣病による合併症の進展阻止を目指した外来診療とともに慢性腎不全に対する維持透析を実施します。



藍住川島クリニックは社会医療法人川島会のサテライト透析施設として、北佐古の川島透析クリニック、鴨島、鳴門、脇町、阿南に次いで徳島県内6番目の施設として開院いたしました。

2018年6月18日から一般外来を、7月2日から血液透析を始めました。血液透析は53床（個室3床）で月、水、金の週3回8時30分から行っています。安全を最優先として、スタッフ一同細心の注意を払いながら透析業務に当たっています。一般外来では、糖尿病内科、循環器内科を中心とした内科診療を行っています。さらに9月18日から毎週火曜日に泌尿器科外来の診療も始まりました。



藍住川島クリニック院長
長瀬 教夫

【診療科目】循環器内科・糖尿病内科・内科・泌尿器科・血液透析内科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
循環器内科 糖尿病内科 内 科	9:00~12:00 (最終受付 11:30)	○	○	○	○	—	—
泌尿器科	9:00~12:00 (最終受付 11:30)	○	—	—	—	—	—
血液透析内科	8:30~14:00	○	—	○	○	—	—

腎臓病は進行すると末期腎不全に陥り、血液透析、腹膜透析、腎移植が必要となります。透析施設数は2016年末で約4千400施設、患者数は約33万人となっています。2016年1年間の新規透析導入患者数は3万9千344人でした。糖尿病腎症が原因で透析導入になる人は2011年に原因疾患の第1位となつてから、持続的にその割合が上昇していましたが、近年そのスピードがやや減少しています。糖尿病腎症による導入は男性の46.2%、女性の36.7%と男女間に差を認めました。慢性糸球体腎炎による透析導入は直線的に減少し、腎硬化症や原疾患不明例が増加しています。慢性糸球体腎炎や腎硬化症では男女差を認めませんでした。

透析導入の男女比は男性・女性比は約2.1と男性が多くなっています。平均年齢は男性68.57歳、女性71.19歳でした。透析導入患者の平均年齢は年々増加してきています。高齢化に伴い合併症の頻度や認知症の合併頻度も増加してきています。

腎臓病は進行すると末期腎不全に陥り、血液透析、腹膜透析、腎移植が必要となります。透析施設数は2016年末で約4千400施設、患者数は約33万人となっています。2016年1年間の新規透析導入患者数は3万9千344人でした。糖尿病腎症が原因で透析導入になる人は2011年に原因疾患の第1位となつてから、持続的にその割合が上昇していましたが、近年そのスピードがやや減少しています。糖尿病腎症による導入は男性の46.2%、女性の36.7%と男女間に差を認めました。慢性糸球体腎炎による透析導入は直線的に減少し、腎硬化症や原疾患不明例が増加しています。慢性糸球体腎炎や腎硬化症では男女差を認めませんでした。

透析導入の男女比は男性・女性比は約2.1と男性が多くなっています。平均年齢は男性68.57歳、女性71.19歳でした。透析導入患者の平均年齢は年々増加してきています。高齢化に伴い合併症の頻度や認知症の合併頻度も増加してきています。

CKDは蛋白尿と腎機能（eGFR）の低下が3ヶ月以上持続することで診断されます。高血圧や糖尿病で治療を受けている場合は定期的な腎機能の評価が重要になります。

糖尿病歴があり、微量アルブミン尿から顕性アルブミン尿を経てGFRが低下し、糖尿病網膜症、糖尿病神経障害などを伴う例が糖尿病腎症と診断されてきました。しかし近年、顕性アルブミン尿を伴わないままGFRが低下する例が多くなり、このような例を含む非典型的な腎疾患を含む概念として糖尿病性腎臓病（DKD）という疾患群が提唱されるようになってきています。

CKDやDKDに対して早期から介入することで腎症の重症化が予防できると言われています。藍住川島クリニックでは一般外来でこれら疾患に注意を払って診療を行っています。

看護師
武市 麻希

藍住川島クリニック開院に伴い配属となりました、看護師の武市です。長瀬院長をはじめ、諸先輩方に支えていただきたくさんの事を学ばせていただいております。患者さんが安心して治療を受け、元気に在宅へ帰っていただき、日々の生活が充実したものになるよう支援していけたらと思っています。



看護師
吉川 悦子

6月18日から藍住川島クリニックに配属になりました吉川悦子です。透析機械、外来採血機械ともども初めて触れるものばかりで今も…苦心しています。早く覚えたいと思い頑張っている最中です。長瀬院長はじめ、スタッフのみんなに助けてもらいながら毎日奮闘しています。楽しい職場です。



看護師
岡 富久栄

新しく藍住川島クリニックで透析室と内科、循環器内科、糖尿病内科、泌尿器科の外来診察があります。スタッフの中では一番経験年数が長いです。経験年数を活かし透析患者さん、外来患者さんにはそれぞれ疾患に合わせたより良い看護に努めたいと思います。



看護助手
條辺 陽子

7月より藍住川島クリニックで勤務させていただきます。看護助手の條辺です。私の透析室での仕事は、看護師や技士のように患者さんと密に接する事は少ないですが、少しでも過ごしやすい空間の中で、患者さんが透析治療を受けられるように、環境整備などを行っております。慣れない環境の中で、ご迷惑をおかけする事も多々あるかと思いますが、患者さんや他のスタッフの、お役に立てるように頑張っていこうと思います。



クラーク
藤澤 真弓

藍住川島クリニッククラークとして医師が診察に専念できる環境作りを心がけています。電子カルテの代行入力や診察・検査の予約、採血データの抽出などを主に行うとともに、患者さんともコミュニケーションを図り、医師と患者さんとのパイプ役的な存在になれるよう目指しています。持ち前の明るさと笑顔で、患者さんとの信頼関係も築けるよう努めてまいります。趣味はバレーボール・スポーツ観戦全般です。広報誌の部活紹介や川島会ホームページもご覧ください。



看護師主任
坂尾 博伸



藍住川島クリニックでは血液透析を主とした体外循環による治療を行っています。血液透析療法は生涯にわたり透析を必要とする患者さんがより良い透析生活を送れるように、患者さんとの信頼関係を大切に、医師・臨床工学技士・看護師によるチーム医療の提供に努めています。さて、藍住川島クリニックは川島病院、川島透析クリニック、鴨島川島クリニック、鳴門川島クリニックのちょうど中間くらいの場所に位置しています。今まで、吉野川の橋を越えてこられた患者さんにも通院時間の短縮に繋がり利便性が良くなったのではないかと思います。また、地域住民の方々が住みなれた環境の中で安心して生活できるように医療と福祉を提供していきたいと考えます。



看護副部長
平野 春美



患者・家族や周りの方々のニーズを先取りし、こころのこもった看護をしたいと考えています。そのためには、患者・家族が気軽に話しかけられる看護師を目指し、自分の都合でなく、患者・家族の思いに添える感性を身につけていきたいと思っています。



泌尿器科医師
横田 成司



鳴門川島クリニックの横田です。2018年9月より藍住川島クリニックの泌尿器科外来を担当しています。泌尿器科は恥ずかしくて行きづらい、年のせいだからしょうがない、と様々な理由で受診するのを控えておられる方がたくさんいらっしゃいます。そのために病気の発見が遅れたり、長い間我慢されている場合があります。当科では受診しやすく、丁寧な診療と説明を心がけていきたいと思っています。藍住地区の地域医療に貢献すべく努力していきますので宜しくお願いいたします。





医療事務
岡野 奈都美

川島会に入職して2年目になりました。川島病院で経験してきた一般外来業務の上に、新たに透析の知識も必要となり日々学ぶことばかりです。業務に関してまだまだ覚えることが多く、悪戦苦闘中ですが、先輩方に助言・サポートを頂きながら、頑張っています。私のモットーである笑顔を忘れず、患者さんとのコミュニケーションを図り、円滑な対応ができるよう努めていきたいです。



医療事務
笠井 和代

6/18から一般診療、7/2から透析診療が始まりました。顔なじみの患者さんもいれば、初めて顔を合わす患者さんもいます。その中で不安を抱かせることがないように受付として笑顔を忘れず、患者さんの気持ちに寄り添える対応ができるよう心がけるようにしています。電話対応・受付対応で至らぬ点もありますが、新しい勤務地での業務のやりがいを日々感じているところです。この川島会に就職して20年が経ちますが、この20年間で培ってきた知識やノウハウを生かせるようにこれからも頑張っていきたいと思っています。



臨床工学技士
生藤 千花

7月より藍住川島クリニックに配属になりました、生藤千花です。2年目で知識も経験も浅いですが、周りのスタッフの方々にご指導いただきながら患者さんにとってよりよい透析を行えるよう努めています。また、水質検査や機器の定期点検といったこれまで深く関わったことがなかった作業に触れる機会が増え、とてもいい経験ができています。ご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、よろしくお願い致します。



臨床工学技士
平岡 大知

7月より藍住川島クリニック所属となりました臨床工学技士の平岡と申します。藍住川島クリニックではニプロ社製の透析システムを採用しており、全台で53台稼働しています。私は川島ホスピタルグループに入職3年目となりますが、臨床工学技士として働き始め8年目となり、働き始めてから今までニプロ社製の透析装置を使用してきました。藍住川島クリニックが開院される際にもニプロ社製を採用したと聞き、藍住川島クリニック所属となったのも何かの縁と感じております。患者さんとコミュニケーションを取り、スタッフと連携し、より良い医療を提供していけるよう頑張りたいと思いますのでよろしくお願いします。



臨床工学技士
松永 大樹

2018年7月より臨床工学技士として藍住川島クリニックに配属になりました松永大樹です。患者さんが安心して透析ができるように透析機器の操作や管理などを行っております。新しい環境で患者さんや他のスタッフにご迷惑をかけると思いますが精一杯頑張っていこうと思っております。よろしくお祈りします。



臨床工学技士主任
三橋 和義

社会医療法人川島会の透析クリニックとして7月より藍住川島クリニックが血液透析を開始し、このたび配属となりました。当クリニックは、ニプロ社製透析システムを用いた53床全台オンラインHDFに対応しており、4名の臨床工学技士が厳密な浄化対策を行っています。また、災害等に対する地下水処理装置、自家発電装置など病院設備についても臨床工学技士の重要な業務であり、患者さんが安心して透析治療を受けていただけるよう取り組んでおります。我々臨床工学技士は専門性と技術を活かした視点から、患者さんのニーズに常に対応できるように努めていけるようにと考えてます。





Do you love me?

日本の男の子が年上のアメリカの女の子を口説いているところです

平成30年度 事業計画 川島ホスピタルグループ



1へき地医療の支援
引き続きへき地診療所に医師派遣を行い、へき地における医師確保に貢献する。

2診療内容の充実
① 本年開設する藍住川島クリニックの円滑な運営を図り、県東部吉野川北岸地域の透析治療の拠点とする。
② 開設3年目となる阿南川島クリニックの透析患者の受け入れをより推進し、県南部の透析治療の拠点とする。

③ 対外関係の強化、市民公開講座をはじめとする広報活動、各クリニックでの外来診療強化による診療圏の拡大などにより外来診療を強化する。
④ 透析患者数の停滞が予想される中で、診療科目の拡大に努める。
⑤ 各分野で、より専門性の高い診療を提供する。

3透析患者の確保
① 通院支援を強化し、外来透析患者の利便性の向上に努める。
② 徳島県の腎疾患対策事業に協力することにより、腎臓病外来の充実に努める。

4川島病院の構造設備の改装
① 保有病床(123床)の有効利用と今後10年間の診療の質の変化に対応できる構造設備を検討し、引き続き病院の改装を行う。
② 建築後32年から25年が経過する病院の安全性や効率性を確保するため、川島透析クリニック隣接地において新病院建築に向け設計に着手する。

5クリニックにおける透析用水の確保
① 各施設において安定した透析用水確保のため、湯水時の用水確保、寒冷期の凍結防止等確認を行い必要な対策を講じる。

6迷惑行為対策の推進
① KHG迷惑行為対策マニュアルを周知徹底する。
② 迷惑行為の防止に関する研修会を実施する。

7歯科診療による患者ケアの充実化
① 全身疾患を有する患者の歯科治療を実施する。
② 入院患者の口腔ケアと摂食嚥下障害への対応を行う。

8災害対策活動、医療事故防止活動の積極的推進
① 透析患者の高齢化に伴い、増加が想定される透析中の抜針事故防止対策の強化を図る。
② 医療事故防止のため、勉強会の開催等を通じて職員の技術能力の向上を図る。
③ 大規模震災を想定しての定期的対応訓練及び災害に備えての準備を実施する。
④ 各種手順やマニュアルの周知徹底及び実行を促進する。
⑤ 対策月間設定等による全職員に対する啓発教育を強化し充実させる。
⑥ 震災対策会議を開催し内容を一層充実させる。

9教育・研究活動の強化と支援
① 新入職員、中堅職員、途中入職職員への教育内容を充実させる。
② KHGと関連のある分野の全国規模の学会、研究会への積極的参加を奨励し支援する。

③ KHGと関連のある分野の研修会、講演会セミナーへの参加を奨励する。
④ 院内学習会を定期的に実施し、部署ごとの勉強会、抄読会を頻りに実施する。
⑤ 部署目標、委員会目標の中間及び年度末フォローによる達成度評価を行い、改善のための指導を実施する。
⑥ 部署、委員会における研究及び活動テーマ発表会を実施する。
⑦ 業務上有用な資格の積極的取得の推進と支援を実施する。

10地域社会との交流や関連施設との連携の強化
① 健康福祉フェスタを実施し内容を二層充実させる。
② 震災対策会議を開催し内容を一層充実させる。(再掲)
③ 広報誌を継続発行し内容を一層充実させる。
④ ホームページの内容を充実させタイムリーに更新する。
⑤ 関連病院間や病診連携会議へ積極的に参加する。

11働き甲斐のある職場環境の確保
① チーム医療を推進する。
② 円滑な業務執行のため、適切な職員数の確保に努める。
③ 業務上の成果、努力を人事考課へ正当に反映させる。
④ 管理職在職表彰を創設する。
⑤ 職員の職場労働安全衛生対策を推進する。
⑥ 職員に対する福利厚生をより充実させる。

登壇者

- ◆開会あいさつ
川島 周
(社会医療法人川島会理事長)
- ◆座長あいさつ
水口 潤
(川島病院院長)
- ◆特別講演
伊藤 裕氏
(慶応大学医学部腎臓内分泌代謝内科教授)
- ◆講演
鶯 春夫氏
(徳島文理大学保健福祉学部理学療法学科教授)

開会のあいさつ
病気の予防に
役立てて



川島 周
(社会医療法人川島会理事長)

本日は「健康寿命をのばそう」をテーマとして取り上げ、伊藤先生には2回目、鶯先生には3年連続で講演をお願いした。昔は「無病息災医者いらず」と言われていた。しかし、最近では100歳まで長生きすることを前提として、医者とうまく付き合うことが必要となってきた。健康を守っていくためには、予防診断、早期診断が大切。現在、徳島県の健康寿命は下から4番目と、残念ながら非常に低い。原因としては、検診の受診率の低さが関係していると考えられる。今回の講演を参考にしながら、皆さんの健康管理と病気予防に役立てていただきたい。

生き生きと天寿を全う



「みんなでのばそう健康寿命」

第8回社会医療法人川島会・川島病院市民公開講座「みんなでのばそう健康寿命」(同病院、徳島新聞社主催)が7月15日、徳島市のJRホテルクレメント徳島で開かれた。慶応大医学部の伊藤裕教授が「百寿社会と『幸福寿命』の延ばし方」をテーマに特別講演。人生100年時代に向けて、自分の人生設計を考え、天寿を全うするまで生き生きと幸福に過ごすことの大切さを訴えた。徳島文理大保健福うぐいす社学部理学療法学科の鶯春夫教授は、筋力運動を中心とした「いきいき百歳体操(徳島版)」を仲間と楽しく一緒に行うことで、運動器疾患・障害の改善と予防につなげてほしいと、椅子に座ったままでも行える運動法を紹介した。

第8回
川島病院市民公開講座

座長のあいさつ
「不老長寿」を
目指して



水口 潤
(川島病院院長)

市民公開講座も今年で8回目を迎えた。前々回の講座は「骨を丈夫にして健康に」をテーマにし、昨年は「認知症の予防」について話をさせてもらった。足腰が丈夫になり、認知症も防げたら、次は「不老長寿」がふさわしいだろうと、今回は「みんなでのばそう健康寿命」をテーマに開催する運びとなった。本日は特別講演と一般講演の二つを準備している。今回の話を参考に、皆さんが健康で長生きできることを心より願う。また、われわれもさまざまな課題に取り組みながら、今後皆さんの健康に役立つ有意義な市民公開講座を続けていきたいと思う。



特別講演

「百寿社会と『幸福寿命』の延ばし方」

伊藤 裕氏 (慶応大学医学部腎臓内分泌代謝内科教授)



日本の現在の高齢化率は27%、2060年には40%に達すると予想されている。平均寿命は女性が87歳、男性が81歳と、世界でも上位の長寿国となっている。百寿者(100歳以上)は現在、約6万人。今後も平均寿命は延び続け、07年に生まれた赤ちゃんの半分は100歳まで生きると予想されている。

「われわれはいくつまで生きられるか」と考えた時、「(支援や介護を必要としない)健康寿命をできるだけ延ばしたい」と、誰もが願う。しかし、現在の健康寿命は男性が71歳、女性が75歳。平均寿命から考えると、約10年は

誰かの助けが必要となる。また、元気な高齢者の3割が「日常生活にあまり満足していない」と答えている。幸せを感じられないなら、それは本当に健康といえるだろうか。本当の健康寿命とは、生き生きと毎日を楽しみ暮らす「幸福寿命」のことである。人生100年時代に向け、今後は、定年後も新しいことに挑戦しながら、多方面で活躍を続けていくマルチステージ化が求められる。

これからは「生き生き元気な人」と、「介護を必要としながら長生きする人」のグループに分かれていくだろう。百寿者にはがん、糖尿病患者が少なくない。そして、百寿者の多くは笑顔にあふれている。大切なのは「幸福寿命」である。健康であれば幸せになれるの

定年後も多方面で活躍

で活性化される。「ときめき脳」はおしゃれをする、趣味を持つ、ワクワクすることなどで活性化される。「すっきり脳」は、日光浴や軽い運動を行うと活性化される。

腸内細菌のバランスを整えることも非常に大切だ。腸内細菌は腸の中の粘液の中で生きている細菌のことで、人間とは共生関係にある。豆や根菜、海藻などをしっかりと食べて、腸内環境の改善に努めてほしい。

われわれが健康で長生きするためには、日々幸せを感じながら過ごしていくことがとても大切だと考えている。

ではなく、幸せであれば健康になれるのだ。

では、「この「幸せ」とは、どういうことなのだろうか。一言で言うところ、それは「あいだ」にある。良い「あいだ」を保つことに幸せがある。

この世は時間の流れと、空間の中で営まれている。時間は過去と未来のあいだに現在がある。良い過去があると、それを持って未来を楽しめる。われわれは他の人たちと一緒に生きている。そこに社会ができ、社会のあいだをうまく生きていくことに幸せがある。体の中には、いろいろな臓器がある。臓器と臓器がうまく関わっていくと健康になり、そこに幸せがある。

そこで、健康で長生きするために、「ホルモン」の作用について知っていたきたい。ホルモンは心臓、腸など全身の臓器からつくられ、血管の中を分泌されて他の臓器に行き、他の臓器の作用を調節してくれる。まさに臓器と臓器を結び役割を果たしている。

食べ過ぎや運動不足でメタボリックシンドロームになると、ドミノ倒しのよ

うに糖尿病や脳卒中、心筋梗塞などの病気を発症する。これをメタボリックドミノと呼ぶ。また、大腸がん、子宮がん、膀胱がんなどはメタボ患者がかかりやすいがんとも言われている。そして、これら全てにホルモンが関係している。

メタボリックドミノはミトコンドリアの障害である。ミトコンドリアは筋肉の中にあり、酸素の力を借りて糖分と脂肪分からATPというエネルギー源をつくる。ミトコンドリアの機能が悪くなると、活性酸素が発生して、老化が進む。

今、高齢者に問題なのが、虚弱(フレイル)である。筋肉のミトコンドリアが減少し、筋力がなくなると、歩行速度が遅くなる。中年期はメタボ予防、高齢期には虚弱予防を心掛けてほしい。

ミトコンドリアを元気にするために、カロリー制限と運動が大切だが、空腹時間をつくることも必要だ。空腹になると、胃からグレリンというホルモンが分泌される。お腹がグーと鳴るのはグレリンが作用している。運動して血行が良くなると、血管から二酸化窒素が出て、脈拍が速くなり、心臓からナトリウム利尿ペプチドというホルモンが出る。「よく動いている人の方が幸せを感じる」という調査結果も出ているので、すすんで体を動かしてほしい。

講演

「いきいき百歳体操(徳島版)」

鷲 春夫氏 (徳島文理大学保健福祉学部理学療法学科教授)



「いきいき百歳体操」は、米国立老化研究所が推奨する運動プログラムを参考に、高知市が元気な高齢者を増やす目的で開発した「筋力運動を中心とした体操」である。

この体操は、椅子に腰をかけ「準備体操」「筋力運動」「整理体操」の三つの運動を行う。高知市ではこの体操を長期間続けようとするため、住民主体となることが大切だと判断し、行政側はサポートに回ることにした。

この体操は、2002年度に高知市でスタートし、15年度には40都道府県に広がった。徳島県では16年4月から高知市版を二部修正した「いきいき百歳体操(徳島版)」を鳴門市で開始し、現在では16市町村、274カ所に広がっている。

鳴門市のモデル事業で週1回、3カ月にわたって「いきいき百歳体操(徳島版)」を行った20人を体力測定したところ、椅子からの立ち上がりテスト、歩行能力の評価、3分間の持久力など、いずれも数値に有意な改善がみられた。「体が軽くなった」「筋肉がついた」「みんなと一緒なら体操が続けられる」「地域の交流が増えた」など、肯定的な感想がたくさん寄せられている。

体操を始めて2、3カ月くらいでその効果が表れるが、その後は筋肉への負荷を高めなければ、それ以上良くならない。筋力に応じて、10段階に調節可能な重りを、手首や足首に巻きつけ、10回の運動を「少しきつい」程度

次にオキシトシンというホルモンについて。オキシトシンはわれわれの脳に作用し、欲求が満たされた時、あるいは満たされることが分かった時に活性化して、その個体に快の感覚を与える。その作用を仲介しているのがドーパミンである。ドーパミンの作用がうまくいかないと依存症になり、やがて疲れが生じる。それを癒やしてくれるのが、オキシトシンだ。オキシトシンは、人やペットと触れ合うことでたくさん分泌される。

また、脳を鍛えることで、幸せ寿命を延ばすことができる。「共感脳」は、相手に思いやりの気持ちを持つたり、他者やペットと触れ合ったりすること



みんなで一緒に楽しく

で、ゆつくりと動かししていくことが必要だ。

「いきいき百歳体操」を住民主体で実施するには、市町村によって一部異なるが、①必ず3〜5人以上のグループで行う②週に1、2回の頻度で3カ月は継続する③体操する場所は住民が確保し、椅子やDVDデッキなどの物品を準備する④行政側の支援体制を理解するといった条件を満たすことが必要である。

原則、行政側は3回目まで運動方法の説明や体力測定などを行うが、4回目からは住民だけで行うようになる。その後、行政は3カ月後、そして半年ごとに指導に入る。住民が主体になることで、体操だけでなく、体操後のお茶会やカラオケ、編み物などの趣味の会、小旅行も楽しまれるようになった。薄れていた近所付き合いが「いきいき百歳体操」をきっかけに再び密になった

と喜ばれている。

米国の研究結果によると、長生きに影響を与える要因として「肥満解消」「運動」「禁煙」よりも、「人とのつながり」が大きいことが分かった。定期的集まり、みんなで一緒に運動を行う「いきいき百歳体操」を有効活用して、元気でいきいき楽しい毎日を送っていただきたい。



2017-2018 Photo Report

写真で見る川島ホスピタルグループ行事

- 健康・福祉フェスタ ● とくしまマラソン
- 阿波踊り ● 慰安旅行・タイ・シンガポール・石垣島
- 藤倉みきアジアチャンピオンに
- 部活・サークル紹介
- 太極拳・バレーボール・バドミントン

質疑応答

Q 「健康寿命」はよく聞いて知っていますが、「幸福寿命」は聞いたことがない。詳しく教えてほしい。(73歳女性)
A 伊藤 われわれの言う「健康寿命」が本来に健康かということではなく、五体満足であれば幸せかということ、決してそうではない。幸せな気持ちで過ごすことが大事であって、幸せであれば健康にもなれる。

Q 人の手助けが必要となる高齢者の介護期間は、日本では平均11年、欧米では4年と聞いている。日本と欧米では何が違うのか。どうすれば欧米に近づき、幸福寿命を延ばせるのか。(72歳男性)
A 伊藤 欧米では日本ほど手厚く介護しない傾向があることも一因となっていて、介護期間に差が生じているのかもしれない。多くの人は、病院ではなく、自宅で最期を迎えたいと思っている。大きな病気にかからず、幸福な人生を歩みながら、住み慣れた自宅で暮らしながら天寿を全うしていただきたい。

Q どのような生活をしていけば、がんや認知症にならずに生きていけるのか。(57歳女性)
A 伊藤 がんに関しては、喫煙、肥満、アルコールの過剰摂取などの要因を改善することも必要だが、何より

Q 一般的な考えとして、健康寿命を阻害する主な病気は何か。またその対策があれば教えてほしい。(68歳男性)
A 鷲 要介護4や5の場合は脳卒中や認知症が多い。大きく増加している運動器疾患。対策としては、筋肉をつけることが重要だ。いきいき百歳体操で筋力をつけ、健康寿命を延ばしてほしい。

Q いきいき百歳体操阿南版をしているが、徳島版とは何が違うのか。(75歳女性)
A 鷲 阿南版は高知市版に追加して、肩甲骨の体操を入れている。高知市版、徳島版、阿南版の筋力トレーニングに大きな違いはなく、共に効果が認められている。

Q 変形性股関節症で、足が痛く、ウォーキングがあまりできない。筋力をつける方法はあるか。(76歳女性)
A 鷲 痛みがあるのに、無理して運動するのは逆効果。また、楽なウォーキングでは、十分筋肉はつかない。それよりもいきいき百歳体操の中の、足を横や後ろに上げたり、スクワットをしたりする筋トレが効果的。ただし、椅子の背もたれなどにつかまっても、立って行う体操で痛みがある場合は座って体操を行ってほしい。

2017年11月12日(日)、毎年恒例の健康・福祉フェスタが開催されました。例年とは違い天気も良く、穏やかな気候の中、川島理事長の挨拶を初め無事開幕することが出来ました。今年度は、第20回目(二つ)の節目であったため、大勢の来場者とスタッフが集い、例年にはない盛り上がりでした。

ステージでは、和太鼓やコーラス、ジュニアダンス等が会場を沸かせました。出店で買った食べ物を食べながら来場者たちはステージに釘付けでした。出店では新しいメニューに加えてテナント横で恒例の餅つき行われました。参加者は自分たちのついた餅を買って帰ることで非常に満足されていました。院内では、今年度より新たに始まったお仕事体験コーナーが非常に人気でした。子供たちは実際の白衣を着用し、実際に聴診器などの医療機器を使用することで本物の医者や看護師になりきって問診を行いました。体験の最後には処方箋に記載された個数のお菓子をもらうこ

とで子供たちは満足そうに会場を後にしていました。野外のゲームコーナーでは、家庭用のクレインゲームやパターゴルフが行われていました。ゲームセンターのような雰囲気多くの子供たちが興味を持ち、例年にはない賑わいとなりました。

フェスタ終盤では、ベリータンサーやエイサーが会場を盛り上げ、その熱気に包まれたままお楽しみ抽選会が行われました。節目の開催ということで景品が豪華であったため、番号が読み上げられるたびに大きな歓声が上がっていました。最後は、大会長より閉会の挨拶があり、来場者たちは笑顔で会場を後にしていました。

第20回

健康・福祉フェスタ



広報委員/山下翔
(臨床工学技士)

初フルマラソン出場で完走！
挫折しそうになりましたが諦めなくてよかったです。
いい経験になりました。
臨床検査技師 吉川 由佳里

応援ありがとう
ございました！
クラーク 田中 千尋

今回も制限時間ギリギリでしたが、
みなさんの応援のおかげで
無事完走できました。
ありがとうございました。
クラーク 山本 雅子

暑かった～(><)
臨床工学技士 萩原 雄一

3回目のフルマラソン出場でしたが、
前回より進化した自分が見れました。
日々の練習に励みます。
臨床検査技師 高松 典通

来年も、走ります。
応援ありがとうございました。
総務 田村 徹也

半分くらいで足をつってしまい
残念な結果に・・・
次回は頑張りたいと思います。
用度 藤元 圭一

2018 とくしまマラソン

川島会 遊走会

初めての徳島マラソンで
完走できてよかったです。
臨床検査技師 小川 翔登

楽しかったです
臨床工学技士
露口 達也

今年も楽しく
完走することができました！
診療情報管理士 辰己 奈月

今年も楽しく走れました。
応援ありがとうございました。
施設庶務 澁谷 正和

後半苦しかったけど、
皆さんの応援で元気ができました！
ありがとうございました。
管理栄養士 松浦 香織

毎年ですが、
次こそは練習を！
臨床工学技士
細谷 陽子

初のマラソン大会、完走とは
なりませんでした来年も走ります！
用度 川人 千歩

2018年3月25日に開催された とくしまマラソンに初めて参加しました。

近年マラソンプームが進んでおり、老若男女問わずマラソンを楽しんでいる人が増えていますが、まさか自分がフルマラソンに参加するとは思っても見ませんでした。

走っている人を車の中からテレビで見るのがいつもの風景です・・・
わたしは学生時代からスポーツ全般するのも見るのも好きでしたが、マラソン(走る)ということに関してはあまり興味を持つこともなく過ごしていました。30歳も過ぎ運動不足の解消を兼ねて去年7月頃からゆっくり走り始めることとなり段々と走れる距離が伸びてきたので友人の誘いでフルマラソンに挑戦してみることにしました。

最初は、休日にお金を払ってまで42.195キロ走ることのなにか楽しいことなのかわかりませんでした。とくしまマラソン大会に参加してみても感じたことは大会の雰囲気、沿道の方々の温かい声援、仲間との励まし合い、走り終わった後の達成感、大会後のビール・・・等々。これらの良さは出てみないとわからない楽しさがあり、また来年も出てみたいと思わせてくれる楽しさが多かったと思います。

周りを見ているとタイムよりも走ること自体を楽しんでいる人もいたので、とくしまマラソンというイベントの雰囲気を味わって走ることができたのでよかったです。(タイムはギリギリの6時間20分でした)

溝渕 卓士

所属部署/放射線室
趣味/ジョギング
好きな動物/犬
好きな食べ物/寿司、お肉



初めてフルマラソン参加しての感想は 素直に「楽しかった」の一言です。

生まれてから今まで運動なんてしたことがなく、誘われた当初は先輩からの誘いなのに「いやです」と断っていましたが、先輩からの熱い誘いに負け「何事も挑戦！」と覚悟を決めて参加することにしました。今思えば、人生初めてといえる運動がフルマラソンなんて、無謀なことだったな～なんて思います。

30kmを過ぎたあたりから足が思うように前に進まなくなり、喘息で息ができなくなるという苦しい場面もありました。リタイアしようかなと思ったそんな時、沿道からの「がんばれー。」という声援と一緒に走ってくれていた先輩に励まされ「ゆっくりでも進もう、頑張ろう。」という気持ちになることができました。制限時間ギリギリでしたが、完走することができてほんとにうれしかったです。

最初は嫌々なところもありましたが、今ではフルマラソンに参加してよかったと心から思います。マラソンを通してたくさんの人に支えられていることを改めて実感することができました。ありがとうございました。来年もがんばります！

本城 葉月

所属部署/医事診療情報課
趣味/お菓子作り
好きな動物/ねこ
好きな場所/水族館・動物園



今年は、best timeでした!!
応援の皆様、ありがとうございました。
臨床検査技師 多田 浩章

暑くて、苦しかったです。
診療放射線技師 猪龍 浩司

来年は
Bestタイム出したい!
クラーク 三原 千枝

今年は
"TeamDiabetesTokushima"が
結成され、1型糖尿病の方も
全員完走で感謝感激!
遊走会ランナー&ミニオンズ
追っかけ応援隊も
頑張りましたよ～
看護師 佐藤 裕子

応援していただき、
ありがとうございました。
看護師 安田 佳恵

今回も目標タイムを切れませんでした。
励みます。
診療放射線技師 佐木山 薫

皆さんの応援のおかげで
完走できました。
来年も頑張ります。
臨床工学技士 長野 圭吾



伊藤 文子
(泌尿器科 医師)

他県出身で阿波踊りは初体験だったのですが、皆の一体感があってただ見に行くのよりずっと楽しかったです。お客さんの前で衣装を着て踊るのも貴重な経験でした。来年は男踊りで参加したいです。



須崎 友香
(看護師)

練習の時は難しくて本番踊れるか不安でしたが、本番とても楽しみながら参加することができました。踊る側として阿波踊りに行ったのは初めてでよい体験ができたと思います。お世話になりました。



西本 篤史
(理学療法士)

阿波踊りに参加するのは2回目になるのですが、今回初めて高張提灯を持たせて頂きました。先頭に立って踊ることに緊張しましたが、棧敷からの声援などもあり楽しく踊ることが出来ました。高張提灯の重みは一失忘れることの出来ない思い出になりました。



阿波踊り

今年も徳島県が誇る阿波踊りに参加しました。川島病院連は2011年に発足し、今年で8回目の参加となります。

川島病院連では例年通り、娯茶平連の方をお招きし、5月から週に1回、7月からは週に2回の練習を行いました。当日は川島理事長を含む98名の職員、21名の子ども達が参加し、友人や海外からのゲストもお招きしました。

8月13日、晴天。阿波踊り初日で日曜日という事もあり、観客は多く沢山の方に観て頂きながら楽しく踊りました。熱気に包まれながら、娯茶平連の鳴り物に導かれ、藍場浜演舞場に繰り出します。楽しい時間はあっという間……。踊りと鳴り物と、観客の声援による渦が一体となり、それは素晴らしい一時です。藍場浜演舞場の次は、全演舞場の中で最長の踊り子泣かせの演舞場」といわれている両国本町演舞場での舞踊でした。踊ってみると、こどもも、楽しい時間はあっという間……。無料演舞場なので観客との距離も近く、また熱い熱気と声援に包まれながら、参加者全員で楽しく笑顔で、最後まで踊りきる事が出来、多くの喜びの声が聞かれました。普段はそれぞれ様々な部署で働く職員達ですが、踊りを通じて一丸となり、連帯感や一体感を実感する事が出来た阿波踊りとなりました。今年も、ひと夏の楽しい思い出となりました。

広報委員/中岡加奈子(臨床検査技師)



BANGKOK

タイ・バンコクは「Land of smiles」(微笑みの国)と言われるだけあって、笑顔のたえない国でした。

初日は移動日のみで2日目に寺院めぐりへ。ワットアルンやワットポー、ワットプラケオ、王宮などめぐりました。ワットアルンでは塔の上へと登れるようになっていましたが、観光客が転落するなどの事故がよくあるようで残念ながら途中までしか登れなくなっていました。しかしこの寺院も独自の歴史や雰囲気があり、バンコクの文化を堪能することができました。

次日はタイシルクで有名なジムトンブソンの家へ行ってきました。開放感がありとてもおしゃれな家で、いつかはこんな家に住んでみたいと思いました。この日昼食に訪れたのは「パタラ」です。バンコクでも有名なタイ料理のレストランでマッサマンカレーやトムヤムクン、空芯菜の炒め物などどれもとてもピカイチの美味しさでした。その後行ったマンゴーの有名店「マンゴータンゴ」。スパイスの効いた料理を食べた後のマンゴーは最高でした。

タイの文化に触れ、美味しいご飯を食べべて皆さん笑顔いっぱい素敵な旅となりました。

広報委員
佐木山薫(診療放射線技師)



Land of smiles

微笑みの国 タイ・バンコク

ボートの上は涼しいー。

眺め最高！

仏頭より下から撮影がマナーです。



花よりきれいな私たち！



インスタ映えしてるかしら？

マイナスイオンたっぷり！お肌うるおいます！



シンガポール 3泊5日の慰安旅行

SINGAPORE



シンガポールは赤道に近いので、1年中蒸し暑い気候です。また6月は紫外線が強烈な時期とのことで対策はバッチリしました。到着した日はそのまま皆で中華料理を食べる中心街へ。少し辛かったですが美味しい料理ばかりでした。アルコール類の値段が高く驚きました。

近代的な建物も多くありましたが、緑が多い印象でした。ガーデンズ・バイ・ザ・ベイのクラウドフォレストでは、マイナスイオンが溢れる滝の前で記念撮影。皆で癒されました。夜は、毎晩行われるガーデンズ・バイ・ザ・ベイのスーパーライブ・グローブ光と音楽のショーを観賞。昼間に訪れた時とは違って幻想的でした。

様々な人種が集まった多民族国で、チャイナタウン、リトルインディア、アラブストリートがあり、様々なグルメも楽しめました。滞在中、食べ物には困りませんでした。名物のドリアンも匂いは強かったですが、美味しかったです。インド街のショッピングセンターは、商品と人の多さに圧倒されました。熱気が凄かったです。

セントーサ島には、交通機関を使わず屋根付きのボードウォークを徒歩で移動。ゆったりと風景を楽しみながら観光できました。シンガポールは治安も良く、街もきれいで心地よく過ごせました。

広報委員/英理香(臨床工学技士)

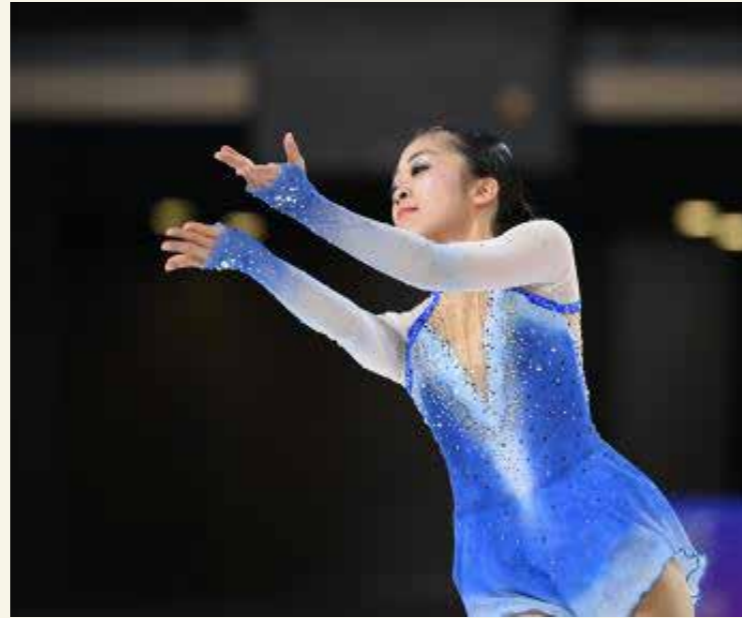


MIKI FUJIKURA
藤倉 みき

(歯科衛生士)

2018
アジアローラースポーツ選手権大会
女子シニアフリー

優勝



藤倉みきアジアチャンピオンに

私は5歳からローラースケートフイギアを始め、今年で20年目になります。母が新聞でクラブ員募集の記事を見て応募したのがきっかけです。最初は水泳、クラシックバレエ、そろばん、習字などいろいろ通っていた習い事の1つとして続けていたことが、次第にローラースケートの魅力に取り憑かれ、気づけばローラースケート中心の生活になっていました。ローラースケートフイギアはアイススケートと同じように、音楽に合わせてジャンプやスピンなどを行い、技の難易度や精度を評価する技術点と滑りの美しさや音楽の調和を評価する芸術点の合計点で順位

を争う競技です。現在は週5回練習を行い、練習がない日にはジムやヨガに通っています。今年の9月に韓国で開催されたアジアローラースポーツ選手権大会では、女子シニアフリーで2大会ぶり2度目の金メダルを獲得しました。前回のアジア大会は優勝を狙いながら実力が出し切れず4位という悔しい結果だったので、今年は絶対に金メダルを取りたいと思います。大会に臨みました。社会人となり仕事をしながら頑張ることができた今回の金メダルは、たくさんの方々の支えがあった結果であり私にとって重みのあるもの

になりました。国際大会出場にあたり、理事長先生をはじめ職員のみなさんには毎回ご支援、ご声援をいただき本当に感謝しています。私の座右の銘は「継続は力なり」です。コツコツと努力をすることで出来なかったことが出来るようになり、それが大会での良い演技につながった時、良い評価をしていただいた時の喜びはとて大きく、頑張ってきたよかったです。これからも道に進んでもコツコツと努力する姿勢を持ち、支えてくださる方々への感謝を忘れず頑張っていきたいと思っています。



これまでの成績

- 2016年、2017年、2018年全日本選手権 3連覇
- 2010年アジア選手権大会 女子ジュニア 総合優勝
- 2014年アジア選手権大会 女子シニア フリー優勝
- 世界アーティスティック選手権大会9回出場

ISHIGAKI

魅力満載! 石垣島

沖縄本島から南西約400キロに位置する自然豊かな離島・石垣島へ2泊3日で行ってきました。

島内観光にワクワク

5月下旬の沖縄は梅雨にもかかわらず、快晴。地元バスガイドさんの解説に「へ〜」と幾度となく応答し、島内観光を満喫しました。米原のヤエヤマヤシ群落では、ちよ〜と息、パイン&さとうきびジュースで糖分補給。川平湾ではガラスボードに乗って・・・カメ、カメ、必死でカメを探しました。夕食は、みんな揃って郷土料理のお店へ。珍しい料理と琉球音楽にお腹も心も大満足。三線(さんしん)に合わせて華麗な踊りも披露しました。

2日目は竹富島へ

赤瓦の屋根、白砂を敷き詰めた道庭先に咲くハイビスカス・・・古き良き沖縄の原風景が残る小さな島、竹富島。自転車で島一周が1〜2時間と程良い距離で、のんびりと流れる。竹富時間を楽しみました。途中スコールに見舞われましたが、それもいい思い出となりました。

旅の楽しみお土産探し

定番から地元の食材を使った商品まで、色々見て迷って買うのが楽しいお土産探し。ファーマーズマーケットでは地元の食材やお菓子を物色。お土産探しはさすがにいつしか夜食探しに。パイナップルやお菓子、お酒を買い込み、ホテルで本日も何度目かのかんぱ〜い楽しい時間を過ごしました。

時間はいくらあっても足りません。他にも西表島観光、星空ツアー、スキューバダイビング、バギーバイク・・・など行ってみたくところ、やってみたくことは数知れず。次回のプランを思い描きつつ石垣島を後にしたのでした。

広報委員/森恭子(管理栄養士)



さとうきびジュースおいし〜



テラス席最高!

カメに会いました!

川島会 バレーボール部



～ 継続～

2015年6月より職員の運動不足解消やコミュニケーション向上を目的としてバレーボール部を結成し、現在30名ほどの職員が在籍しております。練習は毎週水曜日20時から22時までで暑い日も寒い日も集まって行っています。年3回行われている徳島県実業団連盟主催の大会に結成当初より継続して出場しています。また県内の企業チームと練習試合も行い、交流を深めています。今年初めての大会が7月1日に開催され、結果`優勝`という輝かしい成績でスタートいたしました。※詳細はホームページスタッフブログをご覧ください。新入職員も何名か入部し、先輩たちとのコミュニケーションの場としても活用されています。顔と名前、配属部署などを覚えてもらえたり、配属部署が異なり普段顔を合わせない人でも練習で顔を合わせ、お互いの業務の情報交換を行ったりしています。職場での連携という意味でもバレーボール部は活かされています。

結成して3年が過ぎました。3年以上チームが存続し、大会にも出場できていることに感謝しています。職場でのよりよい環境作りを目指すためにも今後もチームとして存続し、またみなさんにもっと身近に感じてもらえるようなバレーボール部を目指したいと考えています。

今後ご支援のほどよろしくお願い致します。

クラーク/藤澤 真弓

VOLLEYBALL

川島会 バドミントンサークル

川島会バドミントンサークルをご紹介します。

職員間のコミュニケーションを図るために発足して数年たちましたが、最近では参加人数も増え、さまざまな職種の方との交流を深められるようになってきました。

輝かしい成績を残すことはできていませんが、どなたでも気軽に参加していただけるというのが当サークルの特長で、ご家族と一緒に参加される方の、勤務中では見ることのできない家庭での姿がみられるのも楽しみのひとつです。(写真撮影時は阪野先生が奥様と参加されました^^^)

当サークルのモットーである「みんなで楽しく和気あいあい」で、今後もバドミントンを通じて更にたくさんの職員と親睦を深め、職場での連携につなげていきたいと思ひます。

医事・診療情報課/福井 美香



部活・サークル紹介



太極拳 サークル



2018年4月より、盛下のお子先生をお招きして、太極拳サークルを開催しています。

太極拳サークルを始めたきっかけは、島健一名誉院長からの言葉でした。「最近太極拳をしているんだけど、転倒予防・健康増進などに効果を感じる、職員の健康増進として始めてほしい」とのことでした。島先生から「まずは先行研究を調べて」と言われ調べてみると、筋力強化(柔軟性向上)・神経コントロール機能向上(ストレス解消)・血流改善・心肺機能向上・バランス機能向上など、非常に多くの効果が報告されていました。しかし、私も太極拳の経験がないため、講師として盛下先生にお願いすることとなりました。盛下先生は太極拳歴20年以上という大ベテランであり、とても優しく教えてくれます。

そんなこんなで始まった太極拳サークルですが、毎回15〜20名程度の方が参加してくださり、みんなで楽しく汗を流しています。また参加者の中には、島先生はじめ医局の先生方も参加してくださっており、医局の先生方とコミュニケーションが一緒におこなえて、楽しみながら健康増進に結びつくという一石二鳥のサークルです。

まだまだ数回しか開催していない太極拳サークルですが、今後多くの方々に参加していただきたいと思ひますので、宜しくお願い致します。

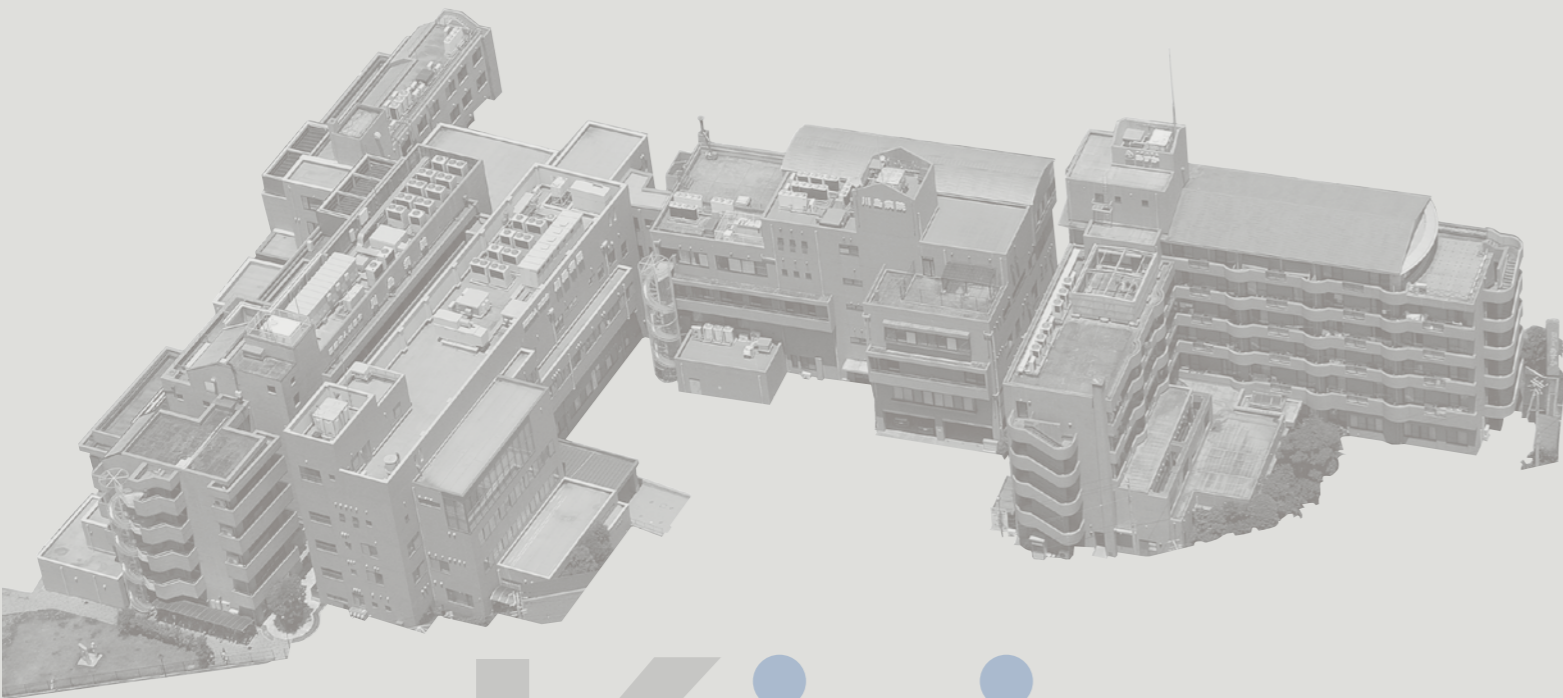
リハビリ室
玉谷 高広



川島ホスピタルグループ 2017~2018年 資料編

- プロフィール
- 医師・職員取得資格
- 医師・職員院外団体等役職
- 職員数
- 座長、司会等
- 診療統計等
- 治験、製造販売後臨床試験

広報委員/服部 和代(総務)



主な行事 2017年9月~2018年8月

2017	10	地域連携懇親会	
	11	広報誌15号発行 第20回健康・福祉フェスタ	
	12	忘年会	
2018	1	防災訓練	
	2	第16回川島ホスピタルグループ震災対策会議 職員親睦旅行・国内(劇団四季)	
	3	川島ホスピタルグループ研究・活動テーマ発表会 とくしまマラソン	
	4	入職式 新入職員オリエンテーション 歓迎会 職員親睦旅行・海外(シンガポール、タイ)(4月~5月)	 
	5	職員親睦旅行 ・国内(石垣島)(5月~6月)	
	6	KHG懇親会 藍住川島クリニック開院	
	7	第8回市民公開講座	
	8	川島病院連 阿波踊り参加	

鴨島川島クリニックのプロフィール(2018年10月1日現在)

■ 標榜科目

内科、人工透析内科

■ 指定

保険医療機関、生活保護法、原子爆弾被爆者指定、自立支援医療機関(更生医療指定)、労災保険指定、感染症法38条指定、難病医療指定

■ 届出事項

がん治療連携指導料、透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算、人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、導入期加算2及び腎代替療法実績加算



鳴門川島クリニックのプロフィール(2018年10月1日現在)

■ 標榜科目

内科、人工透析内科

■ 指定

保険医療機関、生活保護法、原子爆弾被爆者指定、自立支援医療機関(更生医療指定)、労災保険指定、感染症法38条指定、難病医療指定

■ 届出事項

がん治療連携指導料、透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算、人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、導入期加算2及び腎代替療法実績加算



脇町川島クリニックのプロフィール(2018年10月1日現在)

■ 標榜科目

内科、人工透析内科、糖尿病内科

■ 指定

保険医療機関、生活保護法、原子爆弾被爆者指定、自立支援医療機関(更生医療指定)、労災保険指定、感染症法38条指定、難病医療指定

■ 届出事項

在宅血液透析指導管理料、がん治療連携指導料、透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算、人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、導入期加算2及び腎代替療法実績加算



阿南川島クリニックのプロフィール(2018年10月1日現在)

■ 標榜科目

内科、人工透析内科、腎臓内科

■ 指定

保険医療機関、生活保護法、原子爆弾被爆者指定、労災保険指定、感染症法38条指定、難病医療指定、特定健診

■ 届出事項

透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算、人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、導入期加算1



藍住川島クリニックのプロフィール(2018年10月1日現在)

■ 標榜科目

血液透析内科、内科、循環器内科、糖尿病内科、泌尿器科

■ 指定

保険医療機関、生活保護法、原子爆弾被爆者指定、自立支援医療機関(更生医療指定)、労災保険指定、感染症法38条指定、難病医療指定

■ 届出事項

人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、導入期加算1、CT撮影、透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算



川島病院のプロフィール(2018年10月1日現在)

■ 標榜科目

内科、腎臓内科(人工透析・腎移植)、泌尿器科(人工透析・腎移植)、循環器内科、循環器外科、糖尿病内科、消化器内科、呼吸器内科、放射線科、リハビリテーション科、歯科、歯科口腔外科、麻酔科、血管外科、脳神経外科、皮膚科

■ 指定

保険医療機関、救急告示、生活保護法、原子爆弾被爆者指定、労災保険指定、自立支援医療機関(更生医療指定)、感染症法38条指定、難病医療指定、DPC対象、介護保険法、特定健診

■ 届出事項

初診料(歯科)の注1に掲げる基準、歯科外来診療環境体制加算1、急性期一般入院基本料5、診療録管理体制加算 1、医師事務作業補助体制加算 1 区分25:1、急性期看護補助体制加算25対1(看護補助者5割以上)夜間急性期看護補助体制加算30対1、夜間看護体制加算、療養環境加算、栄養サポートチーム加算、医療安全対策加算 区分2、感染防止対策加算2、病棟薬剤業務実加算1、データ提出加算 区分2(口:200床未満)データ評価加算、認知症ケア加算(加算2)、入院時食事療養/生活療養(1)、糖尿病合併症管理料、移植後患者指導管理料(臓器移植後)、糖尿病透析予防指導管理料、ニコチン依存症管理料、がん治療連携指導料、薬剤管理指導料、医療機器安全管理料 1、歯科治療総合医療管理料、在宅患者歯科治療総合医療管理料、在宅血液透析指導管理料、在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算、持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定、歯科訪問診療科の注13に規定する基準、抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)、検体検査管理加算(I)、検体検査管理加算(II)、時間内歩行試験、ヘッドアップティルト試験、CT撮影及びMRI撮影、無菌製剤処理科、心大血管疾患リハビリテーション料(I)、脳血管疾患等リハビリテーション料(III) / 廃用症候群リハビリテーション料(III)、運動器リハビリテーション料(II)、呼吸器リハビリテーション料(II)、歯科口腔リハビリテーション料 2、透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算、人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、導入期加算2及び腎代替療法実績加算、CA D/CAM冠、ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術、大動脈バルーンパンピング(IABP法)、体外衝撃波胆石破砕術、体外衝撃波尿管結石破砕術、同種死体腎移植術、生体腎移植術、輸血管理料II、輸血適正使用加算、クラウンブリッジ維持管理料、遺伝学的検査、ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)

■ 施設認定

日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本透析医学会認定施設、日本腎臓学会研修施設、日本糖尿病学会認定教育施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本高血圧学会専門医認定施設、日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設、日本腹膜透析医学会教育研修医療機関、日本甲状腺学会認定専門医施設、浅大腿動脈ステントグラフト実施施設

■ その他

地域連携室



川島透析クリニックのプロフィール(2018年10月1日現在)

■ 標榜科目

内科、人工透析内科

■ 指定

保険医療機関、生活保護法、原子爆弾被爆者指定、自立支援医療機関(更生医療指定)、労災保険指定、感染症法38条指定、難病医療指定

■ 届出事項

がん治療連携指導料、透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算、人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、導入期加算2及び腎代替療法実績加算



医師・職員取得資格

日本臨床検査医学会専門医	野間 喜彦					
日本医学放射線学会放射線診断専門医	日下 まき					
日本内分泌学会内分泌代謝科(内科)専門医	小松 まち子	宮 恵子				
日本内分泌学会内分泌代謝科指導医	宮 恵子					
日本医師会認定健康スポーツ医	小松 まち子					
日本甲状腺学会専門医	宮 恵子					
日本消化器病学会認定消化器病専門医	宮 恵子	長田 淳一	曾根 佳世子			
日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医	長田 淳一					
日本肝臓学会認定肝臓専門医	長田 淳一					
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医	横田 綾					
日本消化管学会胃腸科認定医	島 久登					
日本動脈硬化学会認定動脈硬化専門医	島 久登					
日本アフレシス学会認定血漿交換療法専門医	島 久登					
麻酔標榜医	深田 義夫					
臨床研修指導医	岡田 一義 高森 信行	川原 和彦 宮 恵子	長瀬 教夫 島 久登	本藤 秀樹	藤本 浩史	木村 建彦
医療安全管理者	志内 敏郎	萩原 雄一	藤田 都慕	常陸 真由美	北淵 梓	
第一種衛生管理者	志内 敏郎					
認定実務実習指導薬剤師	志内 敏郎					
腎臓病薬物療法専門薬剤師	志内 敏郎					
日病薬病院薬学認定薬剤師	志内 敏郎	泉 有里子	村上 真也			
二級臨床検査士	高松 典通					
超音波検査士(循環器)	多田 浩章	中岡 加奈子				
超音波検査士(血管)	多田 浩章					
超音波検査士(消化器)	山田 真由美					
緊急臨床検査士	正木 千晶					
第一種放射線取扱主任者	谷 恵理奈					
静脈経腸栄養TNT-D認定管理栄養士	大西 嘉奈子					
透析技術認定士	田尾 知浩 田中 悠作 東根 直樹 相坂 佳彦 新開 美和	道脇 宏行 播 一夫 英 理香 西内 陽子	細谷 陽子 数藤 敬一 来島 政広 八幡 優季	廣瀬 大輔 原 俊夫 鎌田 優 野口 隼一	中野 正史 清水 一郎 藤原 健司 近藤 郁	森 浩章 成瀬 裕深 岡田 大佑 福永 輝美
3学会合同呼吸療法認定士	田中 悠作	英 理香	相坂 佳彦	鎌田 優	岡田 大佑	
日本心血管インターベンション治療学会 心血管インターベンション技師	東根 直樹	相坂 佳彦				

医師・職員取得資格

日本内科学会認定内科医	川島 周 西内 健 宮 恵子 井上 朋子	島 健二 木村 建彦 長田 淳一	水口 潤 小松 まち子 曾根 佳世子	岡田 一義 橋詰 俊二 岩瀬 俊	宮本 弘 野間 喜彦 島 久登	長瀬 教夫 高森 信行 田代 学
日本内科学会総合内科専門医	岡田 一義	長瀬 教夫	木村 建彦	橋詰 俊二	宮 恵子	井上 朋子
日本内科学会研修指導医	野間 喜彦					
日本透析医学会透析専門医	川島 周 島 久登	水口 潤 田代 学	岡田 一義 井上 朋子	川原 和彦	横田 成司	西谷 真明
日本透析医学会指導医	水口 潤	岡田 一義	川原 和彦			
日本腎臓学会腎臓専門医	水口 潤	岡田 一義	川原 和彦	島 久登	田代 学	井上 朋子
日本腎臓学会認定指導医	水口 潤	岡田 一義	川原 和彦			
日本臨床腎移植学会腎移植認定医	水口 潤					
日本移植学会移植認定医	水口 潤					
日本糖尿病学会研修指導医	島 健二	小松 まち子	野間 喜彦	宮 恵子		
日本糖尿病学会専門医	島 健二	長瀬 教夫	小松 まち子	野間 喜彦	宮 恵子	
日本老年医学会指導医	島 健二					
日本小児科学会専門医	川原 和彦					
日本泌尿器科学会泌尿器科指導医	横田 成司	西谷 真明				
日本泌尿器科学会泌尿器科専門医	横田 成司	西谷 真明				
日本泌尿器内視鏡学会泌尿器 腹腔鏡技術認定医	横田 成司					
日本がん治療認定医機構がん治療認定医	横田 成司					
日本外科学会外科専門医	深田 義夫					
日本高血圧学会指導医	西内 健	島 久登				
日本高血圧学会専門医	島 久登					
日本循環器学会認定循環器専門医	長瀬 教夫	西内 健	木村 建彦	橋詰 俊二	高森 信行	岩瀬 俊
日本心血管インターベンション治療学会認定医	木村 建彦	高森 信行				
日本心血管インターベンション治療学会専門医	高森 信行					
日本心血管インターベンション治療学会指導医	高森 信行					
日本心臓リハビリテーション学会認定 心臓リハビリテーション指導士	高森 信行					
ゴア®/バイアバーン®ステントグラフト実施医	高森 信行					
日本脳神経外科学会脳神経外科認定医	本藤 秀樹					
日本脳卒中学会認定脳卒中専門医	本藤 秀樹					
日本医師会認定産業医	長瀬 教夫	小松 まち子	宮 恵子	曾根 佳世子		
日本人間ドック学会人間ドック 健診情報管理指導士	長瀬 教夫	小松 まち子				
日本人間ドック学会人間ドック認定医	小松 まち子					

医師・職員院外団体等役職

川島 周	徳島県医師会顧問、社会福祉法人徳島県自殺予防協会理事長、徳島大学臨床教授 NPOアリアンスフランセーズ徳島理事長、徳島県赤十字有功会副会長
島 健二	徳島大学名誉教授、日本糖尿病学会名誉会員、日本臨床化学会名誉会員、日本病態栄養学会評議員、徳島県保険者協議会顧問
水口 潤	日本腹膜透析医学会理事長、日本ハイパフォーマンスメンブレン研究会理事長、日本HDF研究会理事、日本アクセス研究会理事、腎臓病臨床経済協議会理事、とくしま移植医療推進財団理事、腎臓病SDM推進協会幹事、日本臨床腎移植学会監事、四国透析療法研究会監事、日本移植学会評議員、日本臨床腎移植学会評議員、徳島大学医学部腎臓内科臨床教授、徳島透析医会会長、日本腎不全栄養研究会顧問、バスキュラーアクセスインターベンション治療研究会世話人
岡田 一義	日本腎臓学会評議員、日本透析医学会評議員・理事、日本腹膜透析医学会評議員、認定NPO法人腎臓病早期発見推進機構理事 日本慢性腎臓病(CKD)対策協議会理事、日本高齢者腎不全研究会代表世話人、日本腎栄養代謝研究会顧問
西内 健	徳島市医師会心電図判読委員会委員、日本循環器学会四国支部評議員 日本心血管インターベンション治療学会中国四国支部運営委員、日本心臓リハビリテーション学会四国支部評議員
本藤 秀樹	徳島県医師会常任理事、徳島県立中央病院顧問、徳島医験ネットワーク機構理事
長瀬 教夫	独立行政法人国立病院機構東徳島医療センター名誉院長、日本循環器学会四国支部評議員、糖尿病情報学会評議員
小松 まち子	徳島市医師会糖尿病対策委員会委員
野間 喜彦	日本内科学会四国支部評議員、日本糖尿病協会徳島県支部理事、日本糖尿病学会学術評議員 日本糖尿病対策推進会議徳島県担当委員(日本糖尿病学会担当委員、徳島県医師会担当委員) 徳島県医師会糖尿病対策班班長、徳島大学医学部臨床教授、徳島NST研究会幹事、プラス1000歩県民運動促進会会長
宮 恵子	徳島市医師会女性医師プロジェクト委員
川島 友一郎	徳島県歯科医師会地域保健部常任委員、徳島大学歯学部臨床講師
島 久登	東北大学大学院医学系研究科大学院非常勤講師
志内 敏郎	日本腎臓病薬物療法学会理事、徳島腎と薬剤研究会会長、CKD・DVD薬剤研究会会長、徳島県病院薬剤師会理事 YMTM(吉野川・美馬・つるぎ・三好)合同薬剤研究会世話人・幹事、徳島薬剤師循環器研究会世話人
村上 真也	徳島腎と薬剤研究会事務局、CKD・DVD薬剤研究会事務局
原 恵子	徳島NST研究会幹事
松浦 香織	徳島県医療栄養士協議会幹事
高松 典通	徳島大学医学部保健学科非常勤講師
多田 浩章	徳島県臨床検査技師会生理検査研究班副班長、徳島心エコー研究会世話人、一般社団法人日本超音波検査学会地方会委員会委員
猪龍 浩司	徳島CT研究会世話人
赤澤 正義	日本核医学技術学会中四国地方会世話人、徳島核医学研究会世話人
谷 恵理奈	徳島心臓CT・MRI研究会世話人
大石 晃久	日本心臓リハビリテーション学会評議員、日本心臓リハビリテーション学会四国支部幹事・評議員、徳島県心臓リハビリテーション研究会世話役
玉谷 高広	日本心臓リハビリテーション学会四国支部評議員、四国理学療法士学会 査読委員、徳島県理学療法士会 健康増進部員、 理学療法ガイドライン・用語策定委員会糖尿病システムティックレビュー班班員
田尾 知浩	一般社団法人徳島県臨床工学技士会理事、徳島透析療法カンファレンス幹事
竹内 教貴	公益社団法人日本臨床工学技士会人材活性化委員会中国・四国地区ブロック委員 公益社団法人日本臨床工学技士会人材活性化委員会都道府県Yボード連絡員徳島県担当 中四国臨床工学技士会連絡協議会若手委員、一般社団法人徳島県臨床工学技士会副会長 一般社団法人徳島県臨床工学技士会若手委員会委員長
大下 千鶴	徳島県立総合看護学校准看護学科講師・第一看護学科講師、徳島糖尿病看護研究会幹事、徳島県看護協会ナースバンクプロジェクト委員
三宅 直美	徳島腎不全看護研究会幹事
西谷 千代子	徳島県立総合看護学校准看護学科講師
数藤 康代	徳島腎不全看護研究会幹事・事務局、徳島透析療法カンファレンス幹事、日本腎不全看護学会透析療法指導看護師徳島県代表
楳山 祐子	徳島CDEJ会世話人
佐藤 裕子	徳島CDEJ会世話人

医師・職員取得資格

日本糖尿病療養指導士	大下 千鶴 小谷 明子	戸田 己記 原 恵子	小倉 加代子 森 恭子	佐藤 裕子 松浦 香織	福壽 悦子 大西 嘉奈子	楳山 祐子
日本腹膜透析医学会指導看護師	西分 延代 小倉 加代子 平野 春美	笹田 真紀 佐藤 裕子 井上 愛	数藤 ゆかり 酒井 紘子 数藤 康代	森下 成美 宮下 めぐみ	戸田 己記 槇納 幸子	有木 直美 木内 雄子
徳島県糖尿病療養指導士	石野 聡子 槇納 幸子 多田 浩章	奥谷 晴美 木内 雄子 玉谷 高広	近藤 郁 藤本 花恵 友成 美貴	日根 千鶴 原田 郁子 宮本 智彦	福永 輝美 中飯 美代 若山 憲市	宮下 めぐみ 泉 有里子 秦 麻友
腎臓病療養指導士	泉 有里子	村上 真也	原 恵子	数藤 康代		
慢性腎臓病療養指導看護師 (旧透析療法指導看護師)	三宅 直美	数藤 康代	小倉 加代子	小川 昌平		
レシピエント移植コーディネーター	西川 雅美	秋山 和美				
認定看護管理者教育セカンドレベル	平野 春美					
インターベンション エキスパートナース	松田 幸子					
日本転倒予防学会認定転倒予防指導士	池尻 真理子					
日本認知症ケア学会認定認知症ケア専門士	戸田 己記	宮里 依子				
日本心臓リハビリテーション学会認定心臓リハビリテーション指導士	大石 晃久	三好 友美				
日本理学療法士協会認定指定管理者(上級)	大石 晃久					
日本理学療法士協会認定地域包括ケア推進リーダー	大石 晃久					
日本理学療法士協会認定介護予防推進リーダー	大石 晃久					
日本ウォーキング協会認定健康ウォーキング指導士	玉谷 高広					
日本ウォーキング協会認定公認ウォーキング指導士	玉谷 高広					
嚙下トレーナー歯科衛生士	高石 和子	南 明香	薦田 茜	藤倉 みき		
認定歯科衛生士 (認定分野A:摂食嚙下リハビリテーション)	高石 和子					
認定歯科衛生士 (認定分野A:糖尿病予防指導)	高石 和子					
社会福祉士	南 明香	薦田 茜	藤倉 みき			
診療情報管理士	宮島 彰子	原 雅子	辰己 奈月			
医師事務作業補助者	秋田 悦代 藤田 豊子 福本 美穂	香川 泰子 細田 真帆子	辰己 奈月 井上 有貴子	森本 麻友美 橘 迪子	近藤 由紀子 祖父江 仁美	藤澤 真弓 横田 浩子
医療情報技師	藤田 諭	末包 博人	奥尾 康晴			

川島 友一郎	第59回全日本病院学会	座長	2017.9.9
志内 敏郎	第19回徳島腎と薬剤研究会	座長	2017.1.31
	第2回CKD・CVD薬剤研究会	座長	2017.5.10
	第2回YMTM合同薬剤研究会	座長	2017.6.25
	第11回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会 一般演題(口演)	座長	2017.9.30
田尾 知浩	第62回日本透析医学会学術集会・総会	司会	2017.6.17
道脇 宏行	第32回日本ハイパフォーマンス・メンブレン研究会	座長	2017.3.18
	第62回日本透析医学会学術集会・総会	座長	2017.6.17
田中 悠作	第48回徳島透析療法研究会 一般演題	座長	2017.11.26
小川 翔登	第41回徳島県医学検査学会	座長	2017.12.10
大石 晃久	第23回日本心臓リハビリテーション学会学術集会	座長	2017.7.16
	日本心臓リハビリテーション学会第1回四国支部地方会	座長	2017.1.22
玉谷 高広	日本心臓リハビリテーション学会第1回四国支部地方会 教育講演	座長	2017.1.22
	(公社)徳島県理学療法士会 健康増進部講演会	司会	2017.6.11
	(公社)徳島県理学療法士会 健康増進部講演会	司会	2017.11.5
三宅 直美	第48回徳島透析療法研究会 一般演題	座長	2017.11.26

診療統計等(2017年4月～2018年3月 注:()内は前年同期)

■外来患者延数 ■歯科患者延数 ■入院患者延数 ■新入院患者延数

外来患者延数	歯科患者延数	入院患者延数	新入院患者延数
52,869名(51,838)	8,094名(10,072)	30,928名(31,852)	1,910名(1,890)

■血液透析患者数(3月31日現在)

川島病院	川島透析クリニック	鴨島川島クリニック	鳴門川島クリニック
52名(51)	544名(551)	144名(145)	126名(115)
脇町川島クリニック	阿南川島クリニック	在宅透析	合計
116名(108)	30名(25)	4名(4)	1,016名(999)

■延べ回数

川島病院	アフェレーシス	川島透析クリニック	鴨島川島クリニック
13,611回(14,351)	57回(68)	81,819回(82,346)	21,189回(22,121)
鳴門川島クリニック	脇町川島クリニック	阿南川島クリニック	合計
18,396回(18,010)	17,005回(16,017)	3,976回(2,973)	156,053回(155,886)

■腹膜透析(CAPD)患者数

	新規導入患者数	患者数
HD	93名(90)	1,016名(995)
PD	18名(11)	97名(90)

職員数 2018年4月1日現在 注:()内は2017年4月1日現在

■社会医療法人川島会 職員数合計 / 560名(537)

●常勤医師 / 31名(30)	●歯科医師 / 1名(2)	●非常勤医師 / 60名(55)
●看護師 / 126名(128)	●准看護師 / 18名(21)	●パート看護師 / 2名(2)
●看護助手 / 67名(65)	●薬剤師 / 12名(12)	●管理栄養士 / 8名(8)
●パート臨床検査技師 / 1名(0)	●診療放射線技師 / 12名(12)	●臨床工学技士 / 63名(58)
●歯科衛生士 / 4名(4)	●医事診療情報課 / 35名(32)	●クラーク / 50名(41)
●施設・庶務課 / 21名(20)	●訪問介護員 / 5名(6)	●総務課 / 18名(16)

■社会福祉法人飛鳥 職員数合計 / 46名(47)

●施設長 / 1名(1)	●管理者 / 3名(3)	●介護支援専門職員 / 5名(5)	●看護師 / 3名(4)
●介護職員 / 7名(9)	●生活相談員 / 4名(3)	●栄養士 / 1名(1)	●事務員 / 1名(1)
●サービス提供責任者 / 2名(2)	●訪問介護員 / 17名(16)	●医療ソーシャルワーカー / 2名(2)	

座長、司会等 / 2017年1月～12月

水口 潤	徳島透析療法研究会 学術講演会	座長	2017.1.17
	徳島透析療法研究会 講演会	座長	2017.1.19
	ビートルチュアブル錠1周年記念講演会	座長	2017.1.28
	日本臨床腎移植学会 シンポジウム	司会	2017.2.15
	徳島CKD-MBDカンファレンス	座長	2017.2.28
	バスキュラーアクセスインターベンション治療研究会 教育講演	司会	2017.3.4
	第32回ハイパフォーマンスメンブレン研究会 優秀演題発表	司会	2017.3.19
	徳島臨床透析セミナー 特別講演	座長	2017.4.11
	第62回日本透析医学会学術集会・総会 ランチョンセミナー	司会	2017.6.16
	第62回日本透析医学会学術集会・総会 シンポジウム	座長	2017.6.17
	第62回日本透析医学会学術集会・総会 ランチョンセミナー	司会	2017.6.17
	第62回日本透析医学会学術集会・総会 会長講演	座長	2017.6.18
	第62回日本透析医学会学術集会・総会 ランチョンセミナー	司会	2017.6.18
	第5回日本腎栄養代謝研究会 ランチョンセミナー	司会	2017.7.2
	Parsabiv Memorial Seminar in Tokushima 特別講演	座長	2017.7.25
	徳島透析療法研究会学術講演会 特別講演	座長	2017.8.1
	第55回人工臓器学会 ワークショップ	座長	2017.9.3
	リオナ発売3周年記念講演会 特別講演	座長	2017.9.5
	徳島県高リン血症治療研究会 特別講演	座長	2017.9.19
	第23回HDF研究会 イブニングセミナー	座長	2017.9.30
	第23回HDF研究会 特別講演	司会	2017.10.1
	第23回日本腹膜透析医学会 PDアクセスシミュレーターライブ	司会	2017.10.7
	第23回日本腹膜透析医学会 ランチョンセミナー	司会	2017.10.7
	第23回日本腹膜透析医学会 優秀演題	司会	2017.10.8
	第23回日本腹膜透析医学会 ランチョンセミナー	司会	2017.10.8
	臓器移植シンポジウム	司会	2017.10.15
Dialysis Access Symposium	Chair	2017.10.19	
第21回日本アクセス研究会 ランチョンセミナー	司会	2017.10.22	
第48回徳島透析療法研究会 ランチョンセミナー	司会	2017.11.26	
徳島透析療法研究会透析学術講演会 特別講演	座長	2017.12.7	
第2回I-HDF研究会 シンポジウム	司会	2017.12.10	
西内 健	日本心臓リハビリテーション学会四国支部地方会 教育講演	座長	2017.1.21
	徳島循環器糖尿病Joint Meeting 講演	座長	2017.2.6
	第17回徳島急性心筋梗塞地域連携研究会 一般講演	座長	2017.4.13
	第5回徳島市抗凝固療法を考える会	座長	2017.10.12
	第14回徳島心臓リハビリテーション研究会 講演	座長	2017.11.27
岡田 一義	第62回日本透析医学会学術集会・総会 シンポジウム	司会	2017.6.17
	第62回日本透析医学会学術集会・総会 学会・委員会企画	司会	2017.6.17
	第23回日本腹膜透析医学会学術集会・総会 シンポジウム	司会	2017.10.7
	ビートルチュアブル錠発売2周年記念講演会in 徳島 一般演題	座長	2017.10.24
	第3回中四国在宅透析研究会 一般演題	座長	2017.10.28
川原 和彦	第62回日本透析医学会学術集会・総会 一般口演	座長	2017.6.16



編集後記

平成から新しい時代へ移り変わろうとしています。
川島病院は85年間歩んで来た中で
たくさんの情報を発信してきました。

新聞が歴史書の初稿であるように
川島会の広報誌は、これからも多くの方に読んで頂き
医療におけるその役割の一端を担っていければと考えます。

今年から広報委員会は新たに編成され、充実したメンバーで活動しています。
平成最後の1冊となりましたが、
発行に携わってくださったすべての皆さんへ感謝したいと思います。

広報委員長 川島 友一郎

■腎移植患者数 ●患者数/64名(62) (3月31日現在)

■主要処置・検査件数

消化器内視鏡	CT	冠動脈CT	シャントPTA
845件(853)	4,173件(4,123)	373件(443)	486件(399)
腎生検	心カテ/PTCA	RI	MRI
62件(52)	250件(296)	255件(324)	1,659件(1,467)
心エコー	骨密度		
2,838件(2,527)	980件(950)		

■手術・処置件数

手術総数	結石破砕	シャントPTA	ペースメーカー植え込み
1,571件(1,528)	95件(102)	486件(399)	11件(17)

■栄養指導件数 ●指導件数/1974件(1,509)

■糖尿病教室 平成29年8月27日 「糖尿病について語り合おう」 参加者7名
平成30年3月24日 「糖尿病について語り合おう」 参加者8名

■リハビリ件数 ●個別/18,297件(14,858) ●消炎/2件(0)

■ケアハウスあすか入居者数(延べ実利用者数) 595件(597)
■デイサービスセンター利用者数(延べ) 7,199件(7,742)
■ヘルパーステーション利用者数(延べ実利用者数) 1,001件(1,079)
■在宅介護支援センター計画数(延べ実計画数) 2,161件(2,381)
■相談支援事業 1,265件(1,200)
■訪問介護利用者(延べ) 280件(286)

■治験 ●川島病院 第Ⅲ相試験 3件
第Ⅱ相試験 0件
●川島透析クリニック 第Ⅲ相試験 3件
第Ⅱ相試験 0件
医療機器 1件

■製造販売後調査 ●川島病院 6件